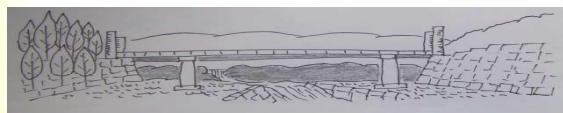


まゆだま

2011. 9. 5. 発行
No. 348



連絡先：高田（榎原小学校）
東京歴教協 八王子支部

～ 「電気使用量15%削減～」という世の中の動きが実施され始めたのは7月1日。その翌日、節電で真っ暗な浅川市民センターの和室に、設定温度を高めにしながらか7月例会が行われました。参加者は15%減にならないようにしたいものです。～

7月の例会報告：「公民館学習&水の学習」

【第1幕】公民館の学習 報告者：樋口俊子さん（歴教協八王子支部会員）

退職後、相模原市に住んでいる樋口さんが、近くにある小山公民館に行ったところ、そこで「女性学級」と出会うこととなります。「My Life」(H22年度)という講座で、まさに自分の人生をふりかえりました。そこから見えてきたことは???

1. 相模原の女性学級とは
 - ・女性の興味関心の高い内容を展開 → 「食生活と健康」 → 講義や実技が中心
 - ・地域を知るための第一歩となる → 運営委員となりより深く活動に関わる
2. 成人学級とは
 - ・戦後教育の発展で、「社会教育は役割を終えた」と言われている現実もあるが、それに応えるような内容で、成人向けの講座が設定されている。女性学級より成人学級に移行している傾向もある。
3. 青年学級とは
講座はたくさんあり、内容も充実しているが、設置している館は1つしかない
▼理想は高いが→実際には、人が集まらないという問題がある。
4. 感想
 - ①活動の予算について（どこに使うのか？ どれだけ使うのか？）
 - ②公民館の職員の努力への評価とお役所仕事の公務員とのギャップ
 - ③公民館とは少し違うが、日野の社会教育センターの活動は素晴らしい

5. 課題と今後の展望

- ①「3階建論」をどう考えるのか→公民館利用の仕方
- ②学校が地域への貢献を期待されすぎ→地域の活動は公民館を中心に
- ③公民科に関わっている人が少ない→地域連帯の脆弱さ
- ④地域の問題に原因を考えどうしたらよいかを考えることが必要

（参加者によるフリートーク）

- ◆地域により、活動にはずいぶん差があるようだ。相模原が特に活発なのかな？
- ◆とにかく館の存在や、館の活動内容が認知されていないのだということを痛感した。
- ◆3年生の地域巡りの学習で、場所の確認はするが、その中身まで理解できるのか？
- ◆公民館の位置付けをもっと正しく知りたい(法的には？ 設置者は？ 職員の体系は？)
- ◆アメリカでは、公民館にあたる単語が無い。…教会や図書館の活動に近いのか。
- ◆自分としては、児童館に近い存在なのかなと思うけど、やっぱりよくわからない。

【第2幕】小学校の授業実践 報告者：ウィリアムス雄史さん（啓明学園初等学校）

多摩川を中心に、子どもの生活と水の関わりを教科をまたいでダイナミックな授業展開になっています。この体験学習の深さも、私立小学校ならではのですね。それを学び合います。

月	社会	理科	総合	国語
4	今昔川物語			
5	玉川上水	水の濾過	羽村の堰	徳べえざくら
6	家の水道調べ 昭島の水道 学校の水道	流れる水の働き	奥多摩体験	
7	小作浄水場	空気と水	水生昆虫	

4年生の水の学習をふりかえりながら、自分の失敗談を検討すべく教師2年目の若者による報告でした。学習の流れを理科や総合の教科との関わりを含めて一通りの報告をしました。予想通り(∩∩)、報告の途中、諸先輩達からたくさんの激励(意見)が艦砲射撃(鉄の暴風って知ってる?)のように寄せられました。

これが、例会で報告することの意味ですね。全ての意見が自分に向けられたアドバイスとなるのです。この日1日で大きく成長を遂げることができました。

（参加者によるフリートーク）

- ◆レジメには、授業の内容、教師の活動だけでなく、子どもの活動・感想・作品などを紹介して、参加者に実践がわかるようにつくることを意識するといいですね。
- ◆濾過実験の失敗は、先生がきちんと定義をしていないからです。言葉を調べよう！
- ◆これらのインタビューや子ども自身の体験を、実践記録としてしっかりまとめること。
- ◆国語の教材も、この単元との関わりを効果的にするには、さらに先生自身の教材研究が大切。まだまだ足りない。全て子どもに伝えるわけではないが、引き出しは増やす。
- ◆関東地方の川と地形の関係をおさえると、5年生の「国土の学習」にも使えますね。
- ◆川の長さだけでなく流域というものを子どもにとらえさせることも大切ではないか。
- ◆

7月例会に参加した皆さんの感想 ～順不同～

- 参加者が多くないのが残念ですが、こうした地道な例会活動を細々とでも継続しているところが、八王子支部の立派な所だと思う。必ずしも授業実践でなくても、今日のような報告でも続けられることを期待します。啓明学園の実践は公立ではなしえない貴重な教育活動です。今後もこうした特徴を活かした実践をお願いします。今日はありがとうございました。
- 公民館を、子ども達の学習活動にどう活かすかということを考えさせられました。教師が子どもと地域を結び付ける重要な存在だと再認識しました。
- 同じ公民館でも地域でかなり温度差はあるようです。私の地域では箱物は行政ですが、実際の運営は民間委託で、活動も今一つです。地域の人達が自分のやりたいことを学ぶのは素敵です。
- 啓明の実践は魅力的です。体験学習の中身も時間のかけ方も、子ども達の学びもとても素晴らしいと思います。ただ、実践の記録をしっかりまとめることがこれからは大事になってくるのでは。この続きのレポートに期待です。
- 自分も大学時代の子ども会サークルでは、公民館を使って調理をしたり、遊んだりしました。学校の授業を通して子ども達にこの場所を伝えていくことが大切だと感じました。今日はありがとうございました。
- 4年生の水の学習は教科の枠を越えて取り組んでいるとのこと。びっくりしました。身体を動かして、目で見て耳で聞くという活動が、子どもにとって多くの学びとなることを感じました。自分もこういう授業を目指します。
- 公民館の積極的な利用の事例を聞くことができ、大変参考になりました。人が集まらない等、公民館の現代的課題もありますが、また詳しくお話を伺う機会があればよいなと思いました。
- 今日はありがとうございました。水の学習の流れ全体が良く理解できました。啓明学園の内部の人にはわかりやすかったです。今日はまだ実践途中ですが、一通り学習し終えたところで、さらに具体的な実践報告が聞きたいです。
- 私立学校ならではの授業実践が聞けて良かったです。1つ1つ深い体験で、子ども達には身体で感じる授業になったかと思います。この実践が終わったら、そこで子ども達が何を学び取ったのか、それをまた聞きたいものです。
- 社会教育も地域教育も学校にお任せするというイメージもあったように思うが、地域住民(大人)の学び合いは、やはり学校外の人間が行うべきである。そのことを小学校3年生がしっかり学べるかどうか。それも教師の課題追求のさせ方にかかっている。まず教師が地域に目を向けることから始めたい。
- 今日は、公民館教育、水の実践と、2つの実践をありがとうございました。4年生の実践報告は久しぶりで懐かしく思いました。今昔川物語から、玉川上水散策、奥多摩体験学習と凄い実践だと驚きました。せっかくいい実践をしているので、子どもの作文や観察記録など、教師がしっかりと記録化して、実践のまとめをしていくと、もっといいものになると思います。2年目の先生の今後の活躍を期待しています。またこういう場で発表して下さい。

○ 8月例会の様子○ 福岡大会(全国大会 2011年7月30日～8月1日)

<御挨拶> みなさん、著書中遠路はるばる北九州までおいでいただき、誠にありがとうございます。

今回の全国大会は、日本の「近代化」に大きな役目を果たした、八幡(やわた)で開催されます。八幡という何ととっても製鉄所です。日清戦争後の賠償金を用いて官営製鉄所ができたことはみなさんよくご存知かと思いますが、「1901」の標識を掲げた八幡製鉄の溶鉱炉跡は、会場から歩いて15分程の「スペースワールド」横にあります。そこを訪れると、近代製鉄の雰囲気伝わってきます。

次に、この全体会の会場、八幡市民会館も歴史的な場所です。ここは近代的な公民館運動の起点にあたる場所ですし、建物自体は1958年10月に北九州市制40周年を記念してつくられたものです。1960年には第1回の建築業協会賞を受賞しています。さらに、市民会館前のロータリーには信号がない、イギリス的な「ラウンドアバウト」方式をとる珍しい道路となっています(ここあたりの解説は速報第2号に書きます)。日本の近代化を牽引するいろいろな試みがなされていたことが分かります。

いまでこそ福岡市が九州の中心地ですが、高度成長期までは北九州市が九州唯一100万都市として、「重厚長大」型の日本経済を底辺から支えていました。今回の大会を後援していただいている新聞各社の西部本社も、北九州市にあったほどです。

その北九州の繁栄を周辺から下支えしたのが筑農の炭田と遠賀川の水運です。ちょうど山本作兵衛の絵が世界文明遺産に登録されたので、少しは知名度があがりましたが、この機会に筑豊にも足をのばし、炭坑の合った街を歩いてみませんか。田川や飯塚の炭坑博物館を訪れるのも一つのアイデアですが、ぜひとも筑豊の「超格差社会」をみてください。一方では、麻生太郎の実家、伊藤伝衛門というスーパー・リッチな世界、他方では、強制連行された朝鮮人の墓碑銘もないポタ石だけの墓、「格差社会」の原点を目の当たりにすると、その不条理になんともやるせない気持ちになります。

新飯塚駅前の麻生邸の塀は万里の長城を思わせる立派なものです。その塀の上にいつも猫がいてこっちを見えています。わたしなぞは、「あの猫はいつたい塀の外と内、どちらに属するのだろうか?」などと下世話な推測をしております。～後略～ 福岡大会の詳細は、歴教協のHPを御参考にして下さい。

— 9月例会のご案内 —

9月例会：「9. 11と3. 11をつなぐ学びの視座」

～ 総合学習で、何を、どう教材化するか ～

日時：2011年9月17日(土) 14:00～16:30頃

場所：台町市民センター (JR西八王子南口徒歩8分→いつもと違います)

★9、10、11月の3回は、台町市民センター(だいまちしみんセンター)

報告者：西村 美智子さん(啓明学園初等学校)

内容：小学校の総合の授業では、何をどう教材化するかで悩むことが少なくありません。今の問題を学習につなげるための方法を紹介します。

学校の先生方だけでなく、一般市民の方の参加もお待ちしております。